

まちのこえへの回答 No.2 (大磯幼稚園の子ども園化について)

担当主管課：子育て支援課 (内線 342)

要望等内容

回答

私は、大磯幼稚園が認定子ども園移行にあたり、民営化になることに賛成です。

新聞報道などで、保護者から反対意見があったように言われていますが、賛成の立場の人間もいますし、決まったことなのであえて「賛成です。」とは言いません。それが一部の意見で決まったことが変わることは、納得できません。

まず、民営化されて心配なことは何なのでしょう。町立なら大丈夫で、私立ではだめという理由がわからないので、そこはもっと説明がほしいです。私立の方が良い点もあります。平塚などの様子を見ると保育時間が長かったりと、保護者の負担がより少なくなっているところもありますし、どこも子ども達のために運営されているので心配はないですし、内容面に関しては、町がしっかりみていけばいいのではないのでしょうか。町に期待するのは、町立であれ、私立であれ、同じようなサービスが提供されるようにしてもらうことです。民営化した方が良い点も含めて考え（設備なども良くなるのでは?）決めていってほしいと思います。

ただ、やり方としては、一度決まったことを変えるということは、納得しにくいです。

町政につきましては日頃より御理解、御協力いただきありがとうございます。令和5年3月29日付けでまちのこえに投書いただいた「①大磯幼稚園の子ども園化」につきまして以下のとおり回答いたします。

大磯幼稚園の町立認定子ども園への移行につきましては、町が民営化の検討を進めていた当時には、大磯幼稚園 PTA 役員から度々、要望書や陳情書などが町役場や町議会に提出され、町立の子ども園を求める意見が表明されてきました。こうした状況も踏まえつつ、町立園のあるべき姿、地域における役割の大きさを改めて認識した上で、より良いのは公の施設を設置することだと判断し、決定したものです。

具体的な理由としましては、町立園は町内に存在する子育て支援施設との連携や、小学校との連携を推進する調整役であり、緊急対応枠としてのセーフティネットの役割を果たす場でもあります。また、経験豊富な職員による現場経験や子育て支援のノウハウを町内の民間園を共有し、先導的により良い教育・保育を実践していく役割を担っています。これらの役割を担う町立園が、地域の基幹園となり、他の園と連携を図ることで町全体の幼児教育・保育の質の向上に繋がると考えて、町立園の設置を目指すこととしました。

町立も民間も、共に子どもたちに適切なより良い教育・保育の提供を実践しております。御意見に記入いただいたとおりサービス面では民間の方が進んでいる面もありますので、民間の発想も取り入れた町立園を設置していく必要があると考えます。そして、その存在を他市町にはない大磯町の子育て支援の魅力として発信していくことで多くの子育て世代を町に呼び込むことを目指しておりますので、町の考えをより多くの町民の方に御理解いただけるよう、町ホームページ等において周知してまいります。

なお、待機児童解消のため令和6年4月の開園を目指して本事業を進めておりましたが、令和5年4月の臨時議会では改修のための実施設計の予算を議会にお認めいただくことがかなわず、予定していた令和6年4月の開園は困難な状況となりました。

町としましては、早急に次善策を検討し、1日も早く待機児童が解消されるよう、今後も子育て世代の皆様の御意見に対し真摯に耳を傾け寄り添いながら取り組んでまいります。

まちのこえ受付日：R5.3.29

掲示日：R5.5.10